

富津市立保育所自己評価書

(竹岡保育所)

- | | | |
|---|---|---------|
| A | → | 大変よい |
| B | → | よい |
| C | → | 一部検討を要す |
| D | → | 改善を要す |

評価期間 令和6年4月～令和7年2月

令和7年3月

項目	内 容	評価 A. B. C. D	評価の根拠・改善策等
生命の保持・健康	家庭との連携を密にし、嘱託医との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境 の維持及び向上に努めている。	A	家庭との連絡は密に行い、感染症発生時には早急に保護者へ周知し、感染拡大防止に努めた。また、胃腸炎時の対応や水遊び時の安全管理について園内研修を行い、安全な保育が提供できるようにしている。
	愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活し、食事や午睡、遊びと休息など、快適な生活のリズムが形成されている。	A	少人数ならではの良さを活かし、一人ひとりの園児に合わせた対応を行い、安定感を持って生活できるようにしている。
	様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んでいる。	A	地域性や自然環境を活かした活動を行い、保護者、地域の方、職員と一緒に楽しめるようにしている。
人間関係	子どもたちが保育士等に思いや行動を受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、安定感をもって過ごせている。	A	家庭的な雰囲気の中で、子どものさりげない仕草や表情を見逃さないようにし、一人ひとりに合わせた対応を行っている。
	生活や遊びの中で、身近な人への関心をもち、真似をしたり、ごっこ遊びを楽しめるようにしている。	B	全園児と一緒に活動することや地域の方と関わるが多く、関心を深めているが、もう少しごっこ遊びがふくらんでいくようにしたい。
	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付くよう促している。	A	いろいろな思いや考えがあることに気付けるよう声をかけたり、代弁したりしている。
	生活や遊びの中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする意識が育つよう援助している。	A	年齢に合わせた言葉かけをしたり、タイムタイマーを使ったりしながら、自分達で意識が持てるようにしている。

環境	安全で活動しやすい環境の下で探索活動を通して五感の働きを豊かにする機会を作っている。	A	地域の方の協力もあり、安全で活動しやすい環境のもと、自然体験をする事が出来ている。
	生活や遊びの経験を重ねながら、形、色、大きさ、量、音などの物の性質に気付くよう働きかけている。	A	野菜の収穫や自然物を使った遊びを通して、形や色、大きさなどに気付く機会を多く持っている。
	自然に触れて遊ぶ中で、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く機会を作っている。	A	散歩に出かける機会が多く、富士山の雄大さや紅葉の美しさ、潮の満ち引きの不思議など、様々な気づきを得られている。
	日常生活の中で、数量や図形、標識や文字などに関心をもつよう心がけている。	A	年長児が手紙を書く姿を見て、年下児も興味を示している。また、給食時に型抜きされた野菜やもられた個数などから形や数にも関心が持てている。
言葉	保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自分の要求や気持ちを伝えられるよう配慮している。	A	一人ひとりに応じて丁寧に関わり、自分の要求が言えるように待ったり、選択肢を与えたりしている。
	絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして言葉の感覚が豊かになるよう働きかけている。	A	1冊の絵本をきっかけに絵本作家との交流を持つことが出来た。また、ボランティアの読み聞かせが月に1度あり、絵本の存在が身近に感じられるようにしている。
	保育士等や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりできるように配慮している。	A	以上児は「子ども会議」を行い、みんなで話し合う機会を多く持っていた。また、ゆったりとした気持ちで聞いたり話したりできるよう、時間の余裕を持つようにしている。

	生活の中で必要な言葉の意味や使い方を知ることができるよう心がけている。	A	職員以外の人との関りも多く、その場に応じた言葉使いが出来るようにしている。
表現	水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れ五感を使い楽しむ機会を作っている。	A	自然物が身近にあるので、五感を使った遊びが十分に楽しめている。
	音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを味わう機会を作っている。	B	体操は十分に楽しんでいた。今後は、リズムやわらべうたに親しめる機会を増やしていきたい。
	生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむよう働きかけている。	A	自然環境を活かした活動が多く、子ども達は様々な気づきを持っていた。また、それをみんなで共有して楽しめるようにしている。
	生活の中で、保育士等や友達と感動を共有することや伝え合う楽しさを味わえるよう心がけている。	A	子どものつぶやきや発見をみんなで共有している。少人数だからこそ、みんなで同時に伝え合える楽しみもある。
保護者への支援	一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などの機会を作っている	A	保育参加時に全員、個別面談を実施し、また必要に応じていつでも個別での相談の機会を持つようにしている。子育て講座や座談会も企画し、保護者同士が繋がれる場も提供している。
	家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A	個々の記録（児童票）や保育日誌に記載し、情報が引き継げるようにしている。
	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応している。	A	送迎時は担任だけでなく、所長、総括も対応できるようにしている。また、相談や意見は職員で共通理解を図り、改善点は早急に対応するようにしている。

行事	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	A	各行事のねらいを職員間で共通理解し、取り組むようにしている。また、保護者にもドキュメンテーションや職員室だより等を通して、行事のねらいを伝えるようにしている。
	保護者の願いや意見を取り入れている。	B	全ての願いや意見を取り入れることは難しいが、保護者と話したりアンケートを実施したりして、願いや意見を把握するようにしている。
	計画・実施・評価・改善の体制をとっている	A	園外保育、自然体験活動等は、十分な下見や試作等を行い、安全面の確認をしている。実施後は職員会議等で反省を行い、次年度に活かせるよう記録している。
その他	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っている。	A	個人情報に関するものは、管理場所を決め、適切に管理している。また、職員は守秘義務を遵守している。
	園内研修を実施している。	A	安全管理に関することや不適切な保育について等、その時々でテーマを決め実施している。園内研修という枠組みだけでなく、職員会議時に研修報告を行い、職員同士での意見交換も行っている。
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	A	タイムリーにドキュメンテーションを作成している。誰もが見やすい場所へ掲示し、保護者や来所者へ保育の様子や活動内容を知らせている。また、感染症情報や気象情報なども随時知らせている。

